

商業科（情報処理）学習指導案

月 日	10月30日（木）
時 限	3時限
指 導 者	渡邊 学
教 科 書	情報処理2 1
発 行 所	実教出版

学 科	商業科	学年・組	1年 2組	場 所	パソコン室	
単 元	第2章 表計算ソフトウェアの活用				指 導 者	渡邊 学
単 元 目 標	1. 表計算ソフトウェアの特色を理解させるとともに、基本的な操作を習得させる。 2. 集計や判定に関する関数の利用法を習得させる。 3. 絶対参照の考え方を理解させるとともに、その利用法を習得させる。 4. 端数処理や順位づけ、日付処理に関する関数の利用法を習得させる					
単元の評価規	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトウェアの機能や特徴について関心を持ち考えようとしている。（関心・意欲・態度） 表計算ソフトウェアの機能を用いてデータを適切な表に表すことができる。（思考・判断） 表計算ソフトウェアの基本的な操作をもとに条件にあう式や関数などを用いて表を作成することができる。（技能・表現） 表計算ソフトウェアの機能や特徴について理解している。（知識・理解） 					
指 導 計 画	第1節 表計算ソフトウェアの利用 26時間（本時 26時間中17時間目） 第2節 グラフの作成 5時間 第3節 データの検索 4時間 第4節 報告書の作成 5時間					
本時の目標	例題2-5（P.68）により、セル番地の絶対参照と順位づけの方法を学習する。					
準 備 資 料	実習問題プリント					

	指 導 項 目	学 習 活 動	学 習 形 態	時 間	指 導 上 の 留 意 点
導 入	本時の説明 ・RANK関数が順位づけを行う関数であることを説明する。	・定期試験の結果やCDランキングなど身近なもので順位づけが行われている例を思い出す。	全体	5分	・生徒が順位づけのイメージをしやすい例を挙げる。 （関心・意欲・態度）
展 開	・割合の求め方を質問する。 ・割合を求める計算式をL4のセルに入力させ、複写させる。 ・エラーの原因を説明する。 ・L4の計算式を絶対参照で指定させ、複写させる。	・ビジネス基礎で学習した割合の求め方を答える。 ・教師と同じ操作を行い、計算式を入力する。 ・中間モニターを見る。 ・L4の計算式に、絶対参照を行う。	全体	15分	・絶対参照せずに複写するとエラーが出ることを体験させ、絶対参照の重要性を理解させる。（知識・理解） ・混合参照は簡単に説明する。 ・机間指導を行い、個別のつまづきに対応する。 （技能・表現）
	・RANK関数の使い方を説明する。 ・順位のつけ方には昇順と降順があることを説明する。 ・RANK関数をM4に入力させ、複写させる。	・中間モニターを見て説明を受けながら、RANK関数を入力する。 ・昇順と降順の違いを中間モニターを見て理解する。 ・教師と同じ操作を行い、計算式を入力する。	全体	15分	・RANK関数でも絶対参照を行う必要があることを理解させる。（思考・判断） ・昇順と降順の違いを理解させる。（知識・理解） ・机間指導を行い、個別のつまづきに対応する。 （技能・表現）
	・実習問題プリントを解かせる。	・実習をとおして本時の内容が理解できたか確認する。	個別	10分	・机間指導を行い、個別のつまづきに対応する。 （思考・判断）（技能・表現）
ま と め	・実習問題の解答を提示する。 ・絶対参照とRANK関数の使い方を復習する。	・解答を確認する。	全体	5分	・自分の解答が正しいか確認させる。 （関心・意欲・態度）
評 価					